

名古屋芸術大学美術学部同窓会情報誌

NUA'98 PRESS 年度

発行日 1998年9月30日

発行人 吉田 将光

編集 同窓会役員

デザイン K/S DESIGN STUDIO

発行所 〒481-0038

愛知県西春日井郡西春町徳重西沼65

TEL (0568) 24-0325

NO. 5

旧絵画棟

RENEWAL OPEN



新しいB棟への歩み

施設利用特別委員会委員長
デザイン科インダストリアルデザイン選択コース
助教授 和田義行

■過去から現在まで

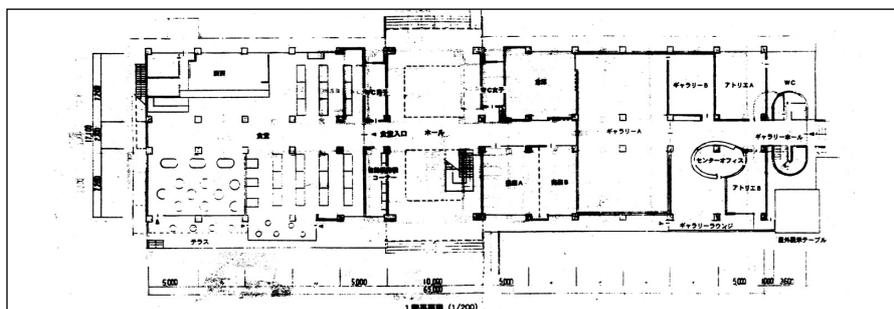
開学当初A棟だけであった美術学部キャンパスに待望のB棟が建設され、学生の制作活動に拍車がかかったのを今でも覚えています。あの時代から東入り口の楕円柱の階段はシンボリック的存在で、いつも芸大祭では吹き抜けカフェバーとして活躍していました。中央のピロティは暗くイメージは余り良いものではなかったのですが、中央の池の鯉やカメはだれとなく大切に育てていました。当初から建物の耐久性に不安があるイメージが定着していて、地震になったらまずB棟からは速やかに逃げるよう言われていた。そんなやっかいもの扱いされていたB棟。

■改修計画のはじまり

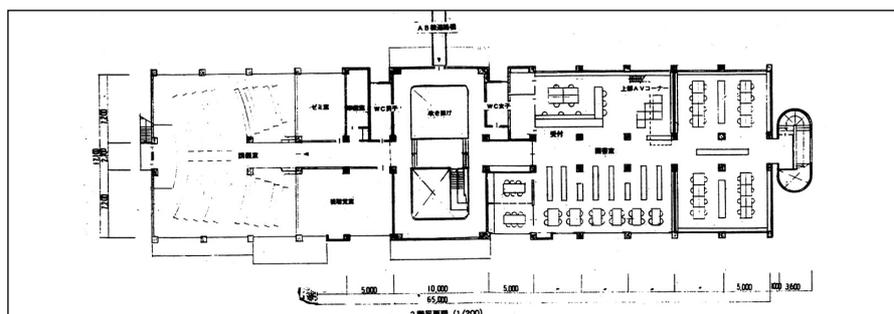
絵画科洋画コースがグランド南側の新洋画棟（Z棟）に移り、B棟を取り壊すか？改修するのか？の論議が始まり、まず当初から問題視されていた耐震構造チェックを依頼することからはじまった。「結果を見て驚いた！！」むしろ今あるどの棟より安全な評価を得た。それではと改修計画の方向とさらに今までのイメージを一新するアイデアを展開しようと「学生と教員が中央に位置するB棟に何を望んでいるか？」「今のキャンパスで不備な点はどこか？」などアンケートやインダストリアルデザインコースと造形実験コースでの共同プロジェクトで「芸大キャンパスを考える」「B Design Planning」をテーマに新しいB棟の在り方の研究活動を始めた。

■実行計画案決定までの道のり

B棟改修計画のため施設利用特別委員会が招集され、研究活動のまとめや、かねてからの要望などをまとめ実行計画を作るため、デザイン科から私と現在名古屋大学情報学部へ移籍された茂登山助教授と二人三脚で実行計画案を練り、委員会へ提案、今まで実技室や工房が主体でどの計画も実行され、「学生の福利厚生や教員・学生とのコミュニケーションスペースや海外からのデザイナーやアーティスト・特別客員教授の講演会・ギャラリーなど不足していたスペースや設備を充実させる計画案」を全面に打ち出した計画を委員会でまとめ、最終的に学部教授会に提案し、各教員からも賛同を得て計画を進めることになった。さあこれからですよ！！



1F



2F

■設計事務所とのコラボレーション

設計事務所を指名コンペで実績のある東京のPHスタジオに決定し、依頼。まず委員会の意向を伝え、何度となく模型や図面で細部までの検討を委員会で行い、やっと合意できるところまでこぎつけたのが3月末、最初はオープンを5月の連休明けに設定していたが、確認申請のための施工図面・浄化槽の問題等急ぐよりしっかり計画を実行しようとして委員会の後期からのオープンとした。

1階西側をカフェテリア（食堂とテラスカフェ）2階西側を大講義室・視聴覚ゼミ室・ゼミ室から構成し、中央ピロティに外光を十分取り入れ、中央の空間を遮っていた2階への階段と池をなくし、東端にシンプルな階段だけ新設、また、南北のドア全面をなくし、開放的な空間をつくり、A棟とB棟間を2階からもアクセスできるようにブリッジを新設しました。

東側はアート&デザインセンターとし、1階にギャラリーB,E、B,E外部にも展示可能なスペースA,B、情報スペースとデザインコレクションスペース・スタジオA,B、デザイン材料と画材のショップ2店舗、2階はアート&デザインライブラリーで構成しました。外壁のカラーリングは7月の暑い最中に南側2階壁面に4案1m×1mの案を展示してもらい、委員全員で全体のカラーイメージを予想して決めました。ブリッジは、アルミのグレーに良く合うスカイブルー。吹き付けの結果は・・・

一度来校してカフェからながめて下さい。ドキドキ

■学生とのコラボレーション

「学生参加で何かできないか？」とはじめから意見はありましたが、壁画やポップアートでは予想もつかず、イメージをダウンさせる危険性も感じ、建築事務所より提案があった外部空間への提案・カフェテリアやピロティで使用する椅子のプロジェクト・カフェでのスタッフやユニフォームやテーブルウェアの提案・ピクトサインやバーナーの提案に限定して学生公募をし、アイデアのプレゼンを7月末に行い、この原稿を書いている8月中旬の夏休み中ですが、参加学生は施工図面や制作に来ています。備品の一部でも購入するだけではなく「オリジナルデザインをアイデアから実際の製品にするまでの体験を通じて自分の能力をレベルアップにつなげてくれる」ことと思います。ガンバッテ。卒業生からの評価もよろしく



■これからの名芸大は

卒業生の皆さんがこの原稿を読んでいる頃は、もう使い勝手のフィードバックで頭を抱えているかもしれません。卒業して2～3年は在校生も知っているのですが、芸大祭には研究室へ顔を出してくれますが、それ以降はご無沙汰です。忙しい卒業生イベント・デザインコンペ・海外デザイン情報・留学相談・中途採用・卒業生の活動などリアルタイムな情報を提供するため今後ネットやホームページでの計画もありますが、今はE-mailが便利だと思います。

今は「芸大から、卒業生からの情報発信とコラボレーション」が重要です。ぜひご連絡ください。待ってマース。



nua-yosi@tcp-ip.or.jp

第6回 BIG CHALLENGE FIGHT

アマチュアボクシング界KO!!アーティスト

石原英康 駒沢大学出身 デビュー戦!!



石原 英康
<松田ジム>
 ■アマ戦歴 60戦
 49勝 (33RAC) 11敗

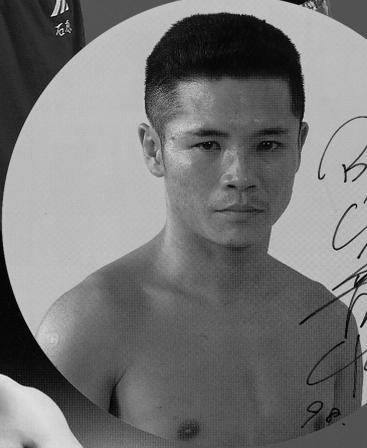
■WBA世界Jフライ級4位
 全日本フライ級チャンピオン
 スズキ・カハト
<新日本大塚ジム>
 14戦12勝 (4KO) 2分

VS
 6回戦

'98.5月4日(日)
名古屋国際会議場
 (白鳥センチュリーホール)

■開場PM1:30 ■ゴングPM2:00
 ■入場料 リングサイド/15,000円
 指定席/10,000円 自由席/5,000円

■主催 松田プロモーション・松田ボクシングジム
 ■後援 中部日本放送・中日スポーツ
 ■協力 全日本ボクシング協会・中日本ボクシング協会
 ■協賛 (株)サミックス・商業流通会・(株)栄進工業所
 ■認定 (財)日本ボクシングコミッション・中部日本ボクシングコミッション
 ■発売 松田プロモーション・松田ボクシングジム



■WBA世界ストロー級5位
安部 悟選手
 21戦19勝 (6KO) 2敗



■北国ストロー級12位
ロデル・ラミラ

■全日本ウェルター級3位
オーツン 一樹選手
 14戦11勝 (8KO) 3敗

VS

■北国ウェルター級8位
リト・ワヤン

■全日本フェザー級1位
中村淳一選手
 23戦19勝 (15KO) 3敗1分

■全日本ウェルター級3位
オーツン一樹

VS

■元Jウェルター級5位
タイガー森本

■全日本フェザー級1位
中村淳一

CBCテレビ 独占中継

■駐車場に限りがありますので最寄りの公共交通機関をご利用下さい。

(ポスター画面中央)



安部 悟 (25才) S48,8,24生
23期 日本画卒業

松田ジム所属
WBA 世界ミニフライ級5位

現在22戦20勝2敗7KO。
 岐阜県多治見市出身。
 現在は、ジムの近くで下宿し、トレーニングに励んでいる。

ボクシングをはじめたきっかけ
 畑中きよし氏(元WBA世界ジュニアフェザー級チャンピオン)
 の試合を見て憧れを抱き、高校卒業し、名芸大に入学が決まった時に
 松田ジムに入る。以後、大学とボクシングを両立させランキングをあげていった。

安部選手からのメッセージ
 必ず世界をとり、チャンピオンベルトを名芸大に持っていきます。
 チャンピオンベルトを肴に一杯飲みましょう。これからも、応援よろしくお願いします。

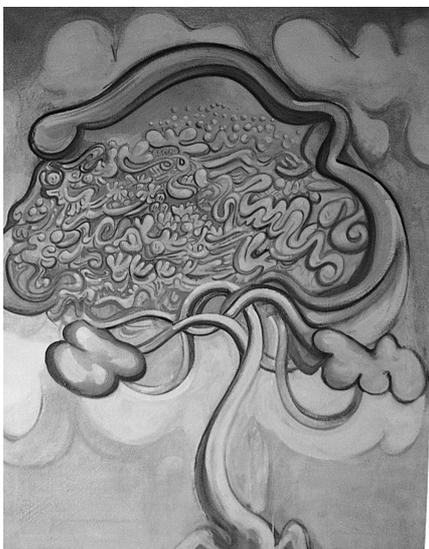
吉本作次

11期洋画卒業生



いつの間にか大学を卒業して15年余も過ぎてしまいました。とは言へ昨年まで名芸で非常勤をさせていただいたこともあり、ずうつと名芸とは関わっていたので今だに身近な場所に思えます。非常勤を受けた当初は、不慣れなこともあり、不真面目な学生に腹をたてばかりでしたが、良く話を聞いてみるにつけ、それぞれの学生の真剣な意識が、ある種の不真面目さを伴うのであり真剣であるほど手が止まってしまう、何もつくれない苦しみに悶々とするのだと得心してから自分にとっても「芸術」は死せずと言う心持ちとに苛まれ、逆にこちらの方が悶々とする日々を送りました。

自分達とは異なる世代の悩みに触れたことは実際の所制作上としてもマイナスになりましたが、現在のように、すべてのシフトが変わっていくように、守るべき核になるものと、変わらねばならないものの見極めは、こうして言葉にするほど簡単ではなく、又多くの優秀な学生諸氏の本質的悩みに答えられなかつた自分が情けなく、なんとか現代の画家になることで遅ればせの解答にしようと考えてはいますが・・・まだ悶々としているのだった。(だいじょうぶかなあ)



金森理恵

20期デザイン科ビジュアルデザインI卒業生



卒業して、早いものでもう6年目になります。卒業後もちよくちよく大学に顔を出す機会があったせいとか、学生の頃とあまり変わらないう気分です。

今は印刷会社に勤務していますが、仕事が忙しくて、在学中から続けていた陶芸を1年目はまったく手をつけることができませんでした。続けていきたいと思っていただけに焦りもしましたが、その時はただただ月日だけが過ぎていくといった感じでした。それでも、なんとか2年目からは再開でき、昨年はグループ展にまでこぎつけることができました。私にとっては、陶芸を続けていくことが学生の時の気分を持続させる素なのかもしれません。

今後、自分の周りの環境が変わることがあっても、陶芸は続けていきたいと思っています。まだ今は自分の工房も持っていませんが、あせらず、いつかは自分の工房を構えゆつくり陶芸に取り組む環境を作りたいと思っています。今は、まだまだ夢の話ですが・・・

PROFILE

吉田千恵

25期日本画卒業生

今回のこの作品は、自分自身をテーマにした作品で、自分の不安定な気持ちを表現したくて描いたものです。毎日、いろいろなことがあり変わっていく自分、ちよつとした出来事や、だれかが言った一言などで揺れ動き、良くも、悪くも変化してゆく、そんな気持ちがこれからどうなっていくのだろうか？という漠然とした未来への思いを描いた。

私は日々、見たものを感じたまま自分の目、心をどうして素直に描いていきたいかと思っている。しかし、それはむずかしく、悩んだり、迷ったりの連続でなかなか思ったとおり描けません。でもイメージどおり描こうと追求していけば、いつか描ける時がくると思うし、そういう作品は、必ず見る人に何か伝わるものがあると思う。そう信じて自分の気の済むような作品をこれから作り上げていきたいと思っている。

第9回臥龍校日本画大賞展 大賞受賞作品





体育館にて

高木先生が学長になられて、初めて迎えた入学式のことでした。先生の細いお体に似つかわず、低音ですが良く通る声で、朗々と挨拶をされました。そのお話しのお面白さに引き込まれてしまったことを今思い出しております。その後も、到る所で先生の挨拶やお話しを聞く機会がありました。一度として同じ話はなく、その上その場を盛り上げ和ませてくださったこと、先生のお人柄だと思えてなりません。

先生は学長になられた頃、学長と言う職種に少なからず戸惑いを覚えておられたと思います。それまで学生を教え、またご自身の制作活動を送っていらしたのに、急に学校経営という重い責務を担わなくてはならなくなりました。同様な経験をしてきた私にはその心の中が痛いほど理解できました。しかし先生はそんな

気持ちをおくびにもだされず、いつも飄々とされており、胸の内には大きな夢を持ちながらも、私もいろいろ先生に難題をぶつけましたが、淡々と先生らしく事を処していかれました。その姿は高木先生そのものでした。先生のご尽力で大学院や絵画棟などが出来たと云っても過言ではないでしょう。先生はよく理事長室に来られ、5年、10年先の大学に夢をさせておられました。その夢の大きさに私も共感しましたし、その夢には大学への、あるいは学生への愛情が感じられてなりません。今では皆さんにお聞かせならなかったことを残念に思います。

1期4年と短い期間でしたが、先生が名古屋芸術大学の学長をされたこの時期に、本学は全国的に芸術大学としての地位が確立し、劇的に発展を遂げました。そして更に、ゆるぎない大学への構想を描いている現在、これからの学校にとって大切な方を亡くした事は残念でなりません。しかし、先生の残された思い、また先生が夢に描かれた学校作りをしていくことが、私のこれからの使命・課題だと思っております。

最後になりましたが、先生のご冥福を心よりお祈りします。

合掌

第11回同窓会ご案内

役員会は下記11月1日を第11回同窓会と設定し準備を進めています。会場を新B棟1階カフェテリアに移し行うことが決定されました。

日時は下記の通りですので、皆さん、お誘い合わせの上、おこしください。

日時	11月1日(日)
場所	美術学部新B棟・新食堂(カフェテリア)
受付	P M3.00～
総会	P M3.30～
懇親会	P M4.00～
会費	3000円

第33回 日春展

33回を迎えた日春展(日展・日本画部・春季展)に入賞・入選者の発表がありました。東海地区の本学関係者はつぎの通りです。なお、入賞・入選作品は、5月16日～26日の間、松坂屋美術館で展観されました。

*委員

関 主税 (客員教授)
佐藤 隼夫 (名誉教授)
山岸 純 (教員)

*会員

荒木 弘訓 (教員)

*入賞者「日春賞」(非常勤講師)
長谷川喜久 (非常勤講師)

*入選者(〇印は新入選)
片山 宏 (教員)

白井 久義 (教員)
市野 鷹生 (非常勤講師)

〇林 真 (大学院生)

〇清水 朋子 (研究生)

〇吉田 千恵 (卒業生)

片桐 亨 (卒業生)

山口 今日子 (卒業生)

上村 洋介 (卒業生)

第28回 日彫東海展
日彫東海展、本学関係の出品者と入選者の発表がありました。

会期 5月19日～5月24日
会場 愛知県美術館ギャラリー。

*出品者
石田 武至 (教員)

神戸 峰男 (教員)

三枝 優 (教員)

*入選者(〇印は新入選)
〇柴田 恭宏 (研究生)

〇梅川 英之 (科目等履修生)

楠堂美代子 (科目等履修生)

田澤 吉史 (大学院修了)

(以下は東海地区の卒業生のみ)
河村 佳則 (卒業生)

田中 厚好 (卒業生)

長坂 紀義 (卒業生)

松本 俊一 (卒業生)

河村 和子 (卒業生)

会長

吉田 将光

副会長

長尾 久道

副会長

青木 高弘

副会長

山田 万喜夫

副会長

平田 隆弘

理事長

白井 久義

理事長

岩井 義尚

理事(書記)

荒木 紀江

理事(会計)

杉浦 尚史

理事(事務局長)

大沢 研次

監査

田口 貴久

評議員

芳賀 基純

評議員

菅原 史子

評議員

長谷川 みき

評議員

山本 洋子

評議員

岩瀬 裕美子

評議員

金森 理恵

評議員

杉原 夕子

評議員

尾関 美奈子

評議員

村上 薫

評議員

坪内 朝子

評議員

杉山 靖乃

評議員

齋藤 淳子

評議員

福岡 正臣

評議員

川田 英二

評議員

山本 直美

評議員

片岡 麻紀

評議員

大岡 宗規

評議員

岡本 昌子

評議員

藤田 撰子

評議員

鈴木 善晴

評議員

高島 陽子

評議員

加藤 優一

評議員

百崎 典絵

評議員

神山 武也

評議員

篠田 有里

評議員

原野 多香子

評議員

及川 純也

評議員

横田 真也

評議員

三枝 久美

評議員

塩谷 真弓

評議員

八神 真弓

2期

2期

4期

5期

5期

5期

5期

5期

5期

5期

3期

2期

デザイン

デザイン

デザイン

洋画

同窓会誌NUPRESSを順調発行することができました。役員諸氏、原稿を書いて下さった皆様のおかげをもちまして、第5号が無事に発行出来ました事を誌面を拝借しまして、ご協力に感謝を申し上げます。

第11回同窓会総会、懇親会が11月1日で開催されます。今回は、美術学部新B棟1階新食堂(カフェテリア)にて開催されます。まだ一度も参加されない方は、懐かしい顔、10年ぶりの顔に会える機会です。又、毎年先生方も、大勢来られています。久しぶりに会って話したいことも沢山あるでしょう。楽しいゲームも企画しておりますので、是非一度遊びに来て下さい。それでは皆さん11月1日に同総会でお会いしましょう。

追伸

NUPRESSでは今以上の読みごたえのあるものにして、充実を謀りたいと思いますので、同窓生からの原稿や取材希望、同窓生への宣伝等、どんな事務局宛にお送り下さい。

スタッフ一同

ご連絡下さい!!

住所を卒業時の時から変更された方、名字が変わられた方etc、より円滑な同窓会誌発行の為にご連絡ください。卒業期、科、氏名、住所、電話番号をご記入の上、下記まで。

愛知県西春日井郡西春町徳重西沼65
〒481-0038
名古屋芸術大学美術学部同窓会事務局